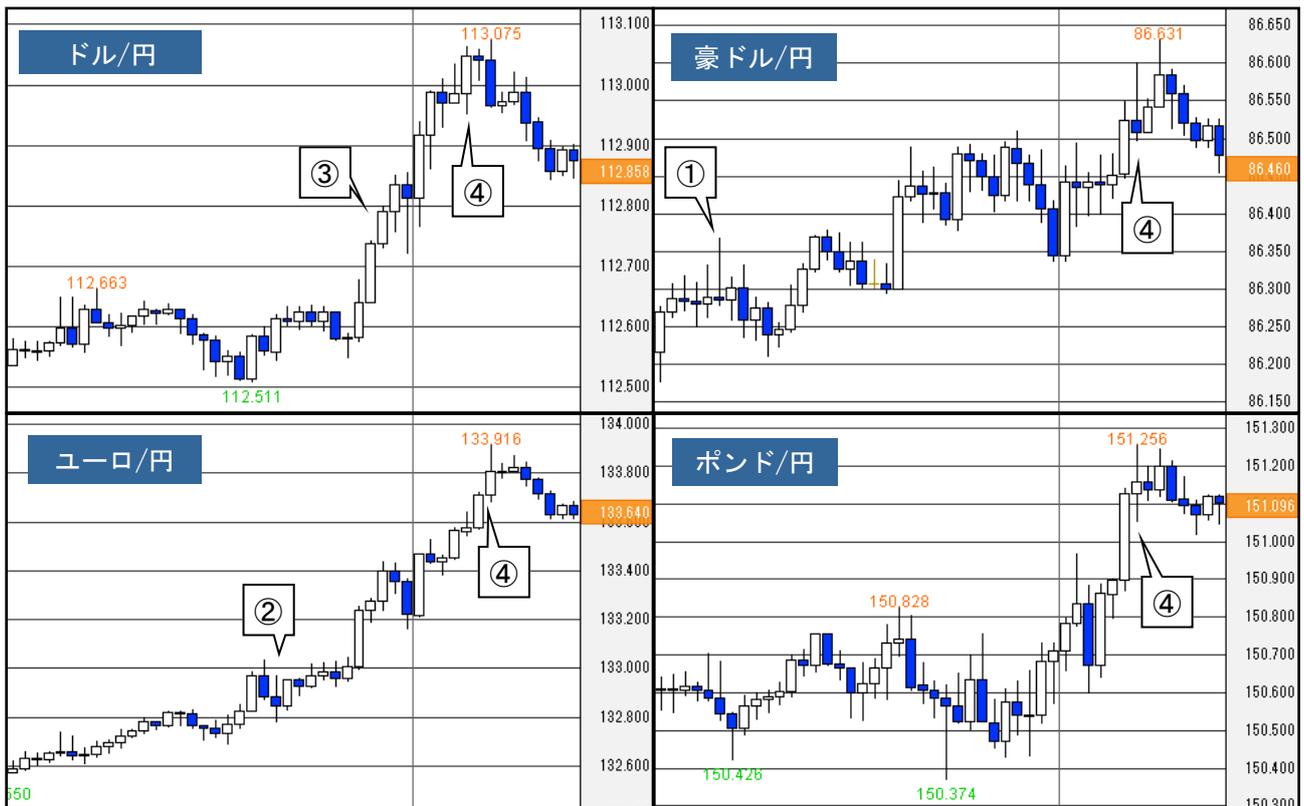


12月20日(水曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

休暇モード入りか

19日(火)の為替相場



期間：19日(火)午前7時10分～20日(水)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪中銀(RBA)は12月5日に行った理事会の議事録を公表。「政策据え置きは成長・インフレ目標に整合的と判断」「インフラ支出は今後3年間は予想より上回る」「失業率は引き続き低下し、インフレ上昇との見方が強まる」「労働市場は昨年よりも強く、依然としてポジティブ」「豪ドルの一段高、インフレと経済の回復予想を遅らせる可能性も」「家計のバランスシートは依然として注意が必要になる」などと、全体として前向きな見方が示された。
- ② 独12月Ifo景況感指数は117.2と市場予想(117.5)を僅かに下回ったがユーロの反応は限られた。ハンソン・エストニア中銀総裁が「ECBはインフレ回復まで債券買入れを継続するといった政策メッセージの調整を検討する必要がある」との見解を示したほか、マクチ・スロバキア中銀総裁が「ECBでの議論は資産買入れから金利に移行中」と述べた事もあってユーロの下値は堅かった。
- ③ 米11月住宅着工件数は129.7万件と市場予想(125.0万件)を上回り、同建設許可件数も129.8万件と予想(127.0万件)以上の結果となった。
- ④ 米税制改革法案の年内成立を睨んで米10年債利回りが10月27日以来の高水準となる2.4698%前後まで上昇する中、ドル/円が一時113円台を回復。このところの上昇の反動で弱含んでいた米国株が下げ幅を縮めた事もあってクロス円も揃って上昇した。その後、米下院は税制改革法案を賛成多数で可決したが、織り込み済みであったと見られ、ドルは反落した。

19日(火)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22868.00 ▼33.77	6071.788 △32.858	3296.538 △28.615	7544.09 △7.08	13215.79 ▼96.51
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24754.75 ▼37.45	0.0420% ±0.0000	2.575% △0.044	1.205% △0.058	0.379% △0.070
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.8525% △0.0248	2.4644% △0.0703	57.46 △0.30	1264.20 ▼1.30	

外為注文情報(ドル/円)

Sell	Rate	Buy
113.35	00	
113.30	00	
113.25	00	
113.20	00	
113.15	00	
113.10	00	
113.05	00	
113.00	00	
112.95	00	
112.90	00	
112.85	00	
112.80	00	
112.75	00	
112.70	00	
112.65	00	
112.60	00	
112.55	00	
112.50	00	
112.45	00	
112.40	00	
112.35	00	

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.300-113.400	133.000-134.400	86.000-87.000	150.400-152.000

【ドル/円】

昨日のドル/円は113円台にワンタッチするも伸び悩んだ。米税制改革法案の年内成立を睨んで米国債が売られており、ドルと連動するケースが目立つ米10年債利回りは約2カ月ぶりに一時2.47%前後まで上昇した。ただ、こうした動きは年末を控えたポジション調整に過ぎず持続性は乏しいとの見方が強いようだ。米10年債利回りから見てドル/円の水準がやや割安に感じるのはこのためだろう。なお、2カ月前に米10年債利回りが同水準にあった際のドル/円は114円前後であった。一昨日の米株高に続き、昨日の米長期金利上昇にも強い反応を見せないとすれば、ドル/円相場は本格的に休暇モードに入ったと考えるべきかもしれない。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
12/20(水)	16:00		(独) 11月生産者物価指数(前年比)	+2.7%	+2.6%
	22:15	○	(英) カーニー-BOE総裁、議会証言	—	—
	24:00	○	(米) 11月中古住宅販売件数	548万件	553万件
	24:30		(米) EIA週間原油在庫統計	—	—
	未定	◎	(米) 米税制改革法案、上院採決	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。